



***CYBERDYNE***

**2021年3月期  
第3四半期決算説明資料**

**CYBERDYNE株式会社**

**2021年2月12日**

# 連結業績 - 前期比較 (IFRSベース)

**売上収益** : 1,246百万円 (1.4%減少)  
**税引前利益** : 389百万円 (171百万円改善)  
**当期利益** : 81百万円 (黒字)

(単位: 百万円)

	FY2019 Q3時点累計	FY2020 Q3時点累計	増減額	増減率
売上収益 (売上総利益)	1,265 (921)	<b>1,247</b> <b>(858)</b>	<b>-18</b> (-63)	<b>-1.4%</b> (-6.8%)
営業利益	-540	<b>-498</b>	+42	—
税引前利益	218	<b>389</b>	+171	+78.7%
当期利益 (親会社帰属)	-13	<b>81</b>	+94	—

## 売上内訳 (新型コロナの影響)

- サービス -23M (主にロボケア・治療センター)
- 製品販売 +54M (主に除菌清掃ロボット)
- レンタル -49M (主に空港向け作業支援用)

## 四半期売上の対前年増減率は改善傾向

Q1:  $\Delta$ 8.8% → Q2: +1.3% → Q3: +2.3%

- 研究開発費 -53M (研究設備の償却費等)
- その他の収益 +46M (受託研究収入、助成金等)

## 投資有価証券関連益 496M (純額)

(内訳)

- 評価益 +1,087M (金融収益・CEJに係る損益)
- 税効果 -335M (法人所得税費用)
- 振替 -256M (CEJファンドの外部投資家持分)

参考) 前期の投資有価証券関連益 451M (純額)

# 連結業績 - 四半期推移 (3ヶ月比較)



【2021年3月期 第3四半期決算：連結損益計算書】

前四半期より増加

前期Q3を上回る

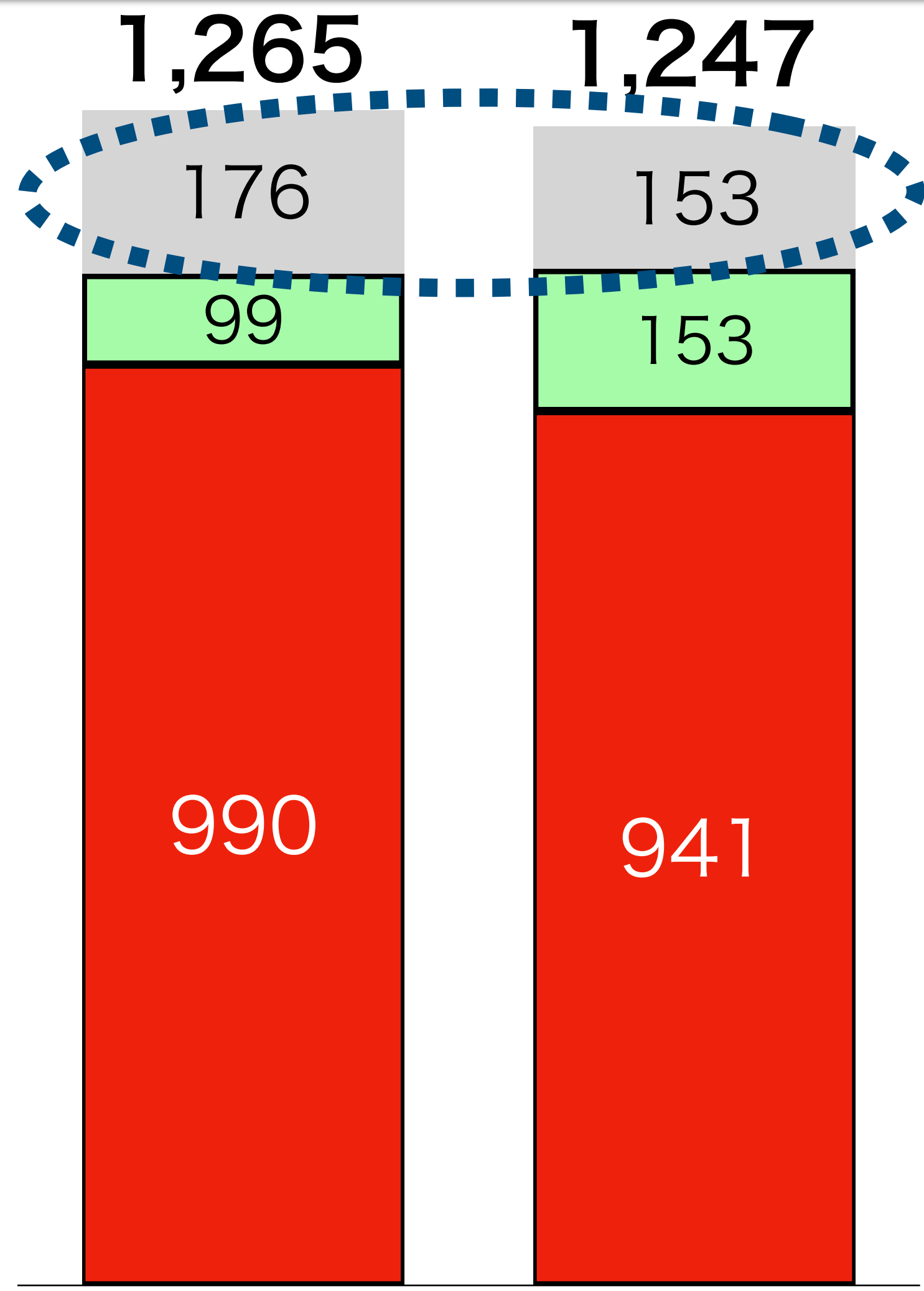
	FY2019	FY2020				累計	前四半期比較 (QoQ)		前年同四半期比較 (YoY)	
	Q3	Q1	Q2	Q3	増減額		増減率	増減額	増減率	
売上収益	442	359	435	453	1,247	+18	+4.1%	+5	+2.4%	
売上原価	115	107	134	147	389	+13	+9.8%	+32	+41.0%	
売上総利益	327	252	301	305	858	+4	+1.5%	-22	-6.7%	
研究開発費	191	180	165	165	510	0	-0.1%	-26	-13.7%	
その他販管費	329	347	304	307	958	+3	+1.0%	-22	-6.9%	
その他収益/費用	34	46	36	30	113	-6	-15.4%	-4	-10.1%	
営業利益	-159	-230	-132	-136	-498	-4	—	+23	—	
金融収益/費用	357	53	505	4	563	-501	—	-353	-98.6%	
その他	14	110	135	79	324	-56	—	+65	+480.3%	
税引前利益	212	-66	508	-52	389	-560	—	-264	—	
当期利益 (親会社帰属)	99	-129	296	-92	81	-388	—	-191	—	

(単位：百万円)

# 連結売上実績（取引別）

新型コロナ「第3波」の影響により、緩やかな売上回復傾向

FY2020 通期試算  
1,750~1,850 M



\*既に存在する製品、承認済の対象疾患に基づく試算であり、新製品や対象疾患の拡大など未確定事項は織りこんでおらず、連結業績予想数値ではありません。

サービス

製品販売

レンタル・保守

ロボケア・ドイツ治療センター  
(新型コロナによる休業・自粛の影響)  
△25M

除菌クリーニングロボット 販売  
(新型コロナによる販売増加)  
+18M

作業支援用HAL腰タイプ レンタル  
(新型コロナによる空港向け減少など)  
△63M

■ レンタル・保守：期間収益  
■ 製品販売：一時点の販売収入  
■ サービス：一時点のサービス収入

(百万円)

FY2019 Q3

FY2020 Q3

本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。

CYBERDYNE株式会社